



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

しらこぼと

2017.12

No.405

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



2017年秋 タカの渡り調査結果

日本野鳥の会埼玉 調査部 ・ IT委員会

● 調査部主催の調査から

調査部では毎年9月に、会員の皆様と共にサシバ、ハチクマなどのタカの渡り調査を行っています。今回は、9月18日(月・祝)に中間平(寄居町、担当：千島康幸)で、9月24日(日)に天覧山(飯能市、担当：鈴木秀治)で行いました。調査結果を下の表に示しました。調査には担当含め48名の方々にご協力いただきました(参加者名は後日掲載します)。皆様、ありがとうございました。

*：渡らなかった個体数を除く

観察場所	観察時刻	天候	観察された個体数(*)		その他のタカ類	参加者数
			サシバ	ハチクマ		
中間平	9月18日 8:00-12:00	晴	16	3	ツミ6、ノスリ、トビ、ミサゴ1	19名
天覧山	9月24日 8:05-12:50	曇り後晴	37	2	ノスリ1	29名

☆ 調査報告・天覧山(ふじみ野市 鈴木秀治)

登山口でコジュケイやシジュウカラの鳴き声に迎えられ、ガビチョウも鳴いている。頂上到着時には雲が低くたれこめ、東のスカイツリーは霞の中、南西の富士山は雲の中、西側の山の稜線がやっと見える眺望。風もなく、少し蒸し暑さを感じる状態での観察開始。早朝の近傍からの湧き上がりには出会えず。その後、西側の山脈付近を帆翔する色々なタカを観察。時間が経つにつれ低い雲は消えたが、上空には雲が残る。僅かに風が吹き出したものの、絶好の北東風とはならず。時折り日も差し暑さを感じる。10時頃には、観察者やハイキング客が大勢登頂して来て展望台は人で溢れている。四方を見る目が多く、タカ以外にも、松の木の天辺で高鳴きするモズ、展望台直下に飛来したヤマガラ、眼下を横切るカケスの白い腰、等々も観察できた。11時頃からは、青空が多く見える状態になり、渡りには逆風だが弱い風が吹く時間帯に、展望台の上空を次々とサシバが渡って行き、参加者の方々から歓声が。12時過ぎにも期待をかけたが、残念ながら渡りは確認出来ず、12時50分に下山した。

● 2017年秋・県内各地のタカ渡り状況

☆ 概況

調査部主催の調査とは別に県内各所で、多くの会員の皆様、あるいは当会以外の団体がシーズン中、頻繁にタカの渡り観察を行っています。当会のホームページでは、県内で確認されたタカの渡りの情報を募集しており、投稿された情報を出来るだけ早く「速報」のかたちで、観察場所を示す地図とともに公開しています。

8月3日から10月5日の間に、25ヵ所(図1)、146件の情報がありました。シーズン中ほぼ毎日、定点観察が行われた中間平からは53件の情報が寄せられました。他に情報が集中していたのは県東部(蓮田市、さいたま市など)の17ヵ所、77件(図1A)、天覧山周辺の4ヵ所、9件(図1B)でした。情報件数が2件以下で、かつ地域A、Bには含まれない観察地は7ヵ所ありました(表1)。

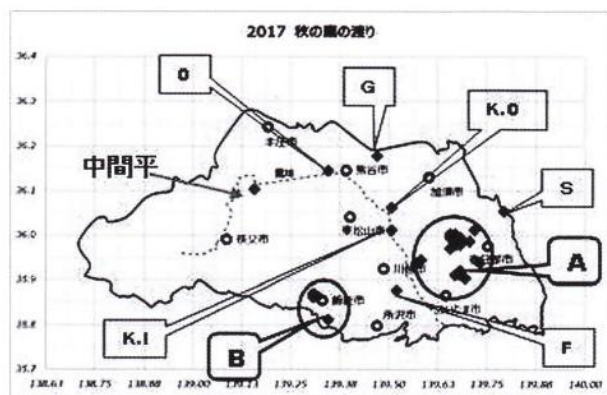


図1 埼玉県内のタカの渡り状況

表1 情報が2件以下の観察地

観察地	地図	件数	観察内容
杉戸町木津内	S	1	9月24日 サシバ 6羽
行田市下中条	G	1	9月3日 ツミ1羽
熊谷市 大麻生	O	1	10月8日 サシバ1羽
鴻巣市大間	K.O	2	9月8日 ハチクマ1羽 9月13日 サシバ2羽
北本市石戸宿	K.I	1	9月26日 サシバ1羽
ふじみ野市上野台	F	1	9月19日 サシバ 1羽

積算個体数は845羽（調査部主催の調査結果を含む）、記録された種類はサシバ(24カ所、787羽)、ハチクマ（中間平36羽、鴻巣市大間1羽、蓮田市黒浜2羽）の他、ツミ（さいたま市西区2羽、行田市下中条1羽、中間平7羽）、ノスリ（蓮田市黒浜1羽、さいたま市西区1羽、入間市上谷2羽、天覧山、中間平3羽）、ミサゴ（蓮田市黒浜2羽）、チゴハヤブサ（蓮田市黒浜1羽）の6種でした。

☆ 今シーズンの中間平(寄居町)の状況（小川町 千島康幸）

今年は8月22日から10月8日まで40日間観察を行いサシバ374羽、ハチクマ44羽の渡りを観察しました。昨年は32日間行いサシバ669羽、ハチクマ34羽でした。サシバが前年比0.56、ハチクマが1.29でした。

サシバは8月22日1羽、ハチクマは24日3羽が渡り始めでした。サシバの渡りの多かった日は、①19日72羽、②21日57羽、③24日37羽でした。ハチクマは①18日8羽、②19日5羽、③21日4羽でした。今年の特徴は、単独又は小集団での渡りが多く、タカ柱は1回だけでそれも26羽でした。北風が吹き、上昇気流ができるという渡りに適する気象条件が少なく、まとまらなかったと考えられます。コースも赤城山方向から飛来するより、栃木県方向から飛来し中間平から1～4km 東南の金勝山、官ノ倉山方向へ向かうものが多くなりました。

各地のサシバの渡り数の昨年比は、中間平0.56に対し、天覧山0.56、梅の公園（青梅市）0.83、白樺峠1.45でした。白樺峠は昨年天候等の関係でルートが変わったようで前年比0.55でしたが、従来のルートに戻ったのか回復しました。しかし2015年比をみると中間平1.51、天覧山1.20、梅の公園1.37、白樺峠0.80と内陸及び太平洋側の渡り数は増加の傾向にあります。サシバには天候等の状況の変化に対応してルートを変更することができる能力があるということです。

猛禽類としてはサシバ・ハチクマ以外にミサゴ、オオタカ、ハイタカ、ツミ、ノスリ、トビ、クマタカ、ハヤブサ、チゴハヤブサ、チョウゲンボウ（渡らなかったものを含む）が観察できました。

☆ サシバの渡り状況

図1の地域A、Bおよび中間平について、期間中のサシバの個体数変化を図2に示しました。同じ日に、近接する複数の地点から報告があった場合は、最大個体数を示しました。地域Bには「天覧山タカ渡り観察グループ」による定点観察のデータをくわえました。

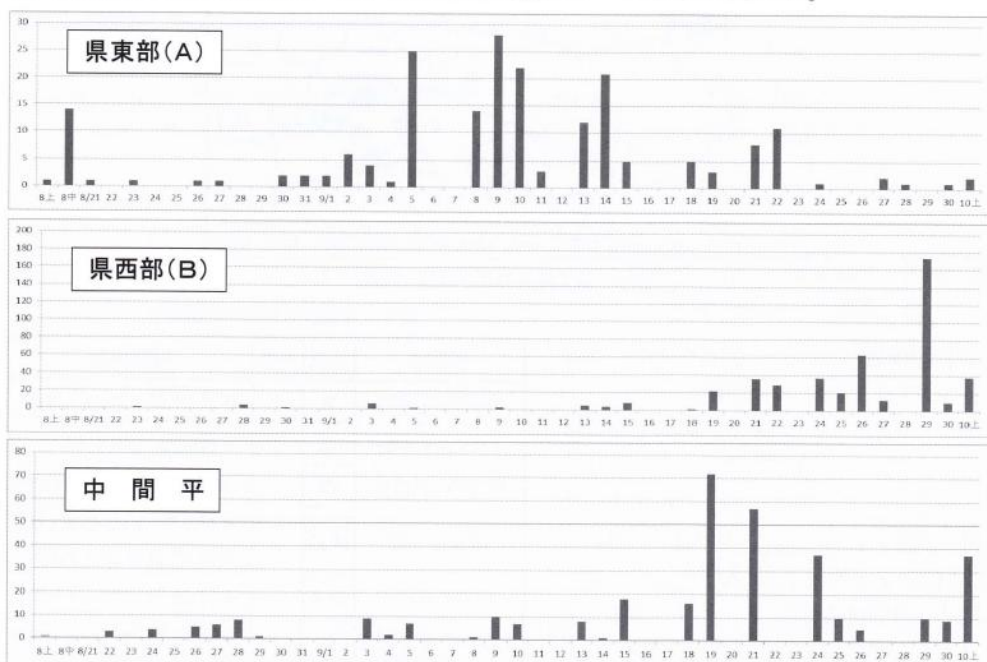


図2 県内各地のサシバの個体数変化

県東部では8月中旬から動きがありました。最も早い記録は8月3日(さいたま市西区、1羽)でした。9月に入ってから、一日に20羽以上が記録される日が4日ありました。この地域は、他よりも観察時期が早く、また「飛翔のみ」(渡りが確認できなかった個体)が多いのが特徴でした。例えば蓮田市黒浜で8月26日から9月19日に報告された27例64羽のうち、渡りが確認できなかったのは12例37羽で、個体数では半数以上に達しました。

県西部では8月中から9月前半はほとんど動きがありません。9月後半になると徐々に増え始め、9月27日には最大個体数を記録しました(天覧山103羽、飯能市飯能173羽、飯能市中山20羽。グラフには飯能市飯能のデータを採用)。この地域の特徴は、観察された個体のほぼ全部が渡っているという点で、渡りが確認できなかったのは9月9日の2羽のみでした。

中間平では8月中から動きが見られ、期間全体を通して渡りが観察されました。特徴は、ここも観察されたほぼ全ての個体が渡っており、8月中から9月前半といった早い時期でも渡っているという点です。

これらの結果から、サシバの渡りにおいてそれぞれの地域が担う役割が違っていることが浮き彫りにされたように思えます。

<謝辞>天覧山のデータは「天覧山タカ渡り観察グループ」代表・市川和男氏のご厚意により使用させていただきました。中間平のデータは石松康幸氏、中村博文氏が行った調査結果も使用させていただきました。ホームページには石川敏男氏、稲浦永子氏、今村富士子氏、榎本秀和氏、神田唯史氏、菊川和男氏、近藤龍哉氏、佐野和宏氏、嶋田富夫氏、鈴木秀治氏、田中幸男氏、千島康幸氏、中嶋康夫氏、長嶋宏之氏、野口修氏にご投稿いただきました。皆様に心より御礼申し上げます。(調査部：小林みどり、IT委員会：佐野和宏)



野鳥情報

さいたま市岩槻区城北大橋北側 ◇8月19日、見られなくなって久しかったシラコバトが1羽、電線に（鈴木紀雄）。

春日部市倉常 ◇8月20日、水の入った休耕田でアオアシシギ1羽、クサシギ2羽とサギ類。8月28日、タカブシギ3羽、クサシギ2羽、キアシシギ1羽、イソシギ1羽、コチドリ約30羽、アオサギ2羽、ダイサギ7羽、チュウサギ9羽、コサギ10羽（若鳥含む）、アマサギ3羽。9月6日、トウネン2羽、オジロトウネン1羽、イソシギ2羽、キアシシギ1羽、コチドリ約50羽。9月7日、トウネン4羽、オジロトウネン1羽、イソシギ2羽、キアシシギ1羽、コチドリ30羽+（鈴木紀雄）。

蓮田市西城沼公園 ◇8月19日、10数本のヒマワリにカワラヒワが4～5羽。待ち遠しいのだろうか？ キュウリ畑、収穫されずに熟れたキュウリに、カラス40羽士が群れて採餌。8月26日、メジロ、エナガ、シジュウカラの混群がシデの木を枝移り。8羽のオナガが1羽ずつ、鳴きながら樫の木から移動した。8月27日、サシバが屋敷林の一本杉の天辺で周囲を睥睨していた。ツミの若鳥が電線に止まっていた。これがサシバを追いかけるのか？ 8月31日、サシバがカラス5～6羽にしつこく付きまとわれ、屋敷林に消えた。9月1日午前8時45分、久しぶりの快晴で北東の風、北東から南西にサシバが輪を描きながら移動。9月4日、西沼でカワセミ1羽。若鳥のようだ。9月7日午前7時頃、久しぶりにコジュケイが囀った（長嶋宏之）。

川島町上猪 ◇8月19日午後12時30分頃、田んぼの上空をショウドウツバメ10羽ほどが飛んでいた（大畑祐二）。

さいたま市岩槻区岩槻文化公園 ◇8月28日午後4時45分頃、北上空にサシバ5羽舞う。しばらく旋回の後、南へ流れて行った。午後5時過ぎ、シジュウカラ、エナガの混群にセンダイムシクイ1羽。頭中央線がはつき

り見えた（鈴木紀雄）。

羽生市砂山 N36. 1493 E139. 5354 ◇8月30日、コチドリ13羽、アオアシシギ3羽、クサシギ2羽、チュウサギ2羽。水が入った休耕田で採餌（長嶋宏之）。

熊谷市下川上 N36. 1671 E139. 4265 ◇8月30日、コチドリ15羽、ハクセキレイ2羽、セグロセキレイ1羽。水の入った休耕田で採餌（長嶋宏之）。

行田市齊条 N36. 1764 E139. 4568 ◇8月30日、周辺の田圃でアオサギ1羽、ダイサギ2羽。休耕田は数枚あったが、乾燥していて草が生えていた（長嶋宏之）。

熊谷市中央3丁目 ◇9月5日午前9時頃、モズが鳴いた。高鳴きというほどではなかったが何度か「ギチギチ」言っていた。山から降りて来たんだね。同日午前11時頃、ノスリが輪を描きながら上昇気流に乗って飛んでいた。野鳥は季節の変化に敏感だなぁ（大畑祐二）。

春日部市南中曽根 ◇9月5日、「ゲー」と鳴きながらオナガ50羽以上が北へ。数の多さにビックリ（鈴木紀雄）。

蓮田市閩戸 ◇9月7日、水の入っている休耕田に20羽以上のタシギを今季初めて観察。9月8日、同所でタシギ10羽以上。9月9日、同所でタシギ10羽以上、一緒にチュウジシギ1羽。チュウジシギは閩戸では初めて。見沼代用水沿いでサシバ若鳥が飛んで来て川沿いの屋敷林にとまる。今季初認（関口明宏）。

蓮田市黒浜沼 ◇9月8日、コチドリ1羽、イカルチドリ1羽、アオアシシギ2羽、タシギ1羽、バン1羽、カイツブリ成鳥4羽、幼鳥1羽、ダイサギ1羽、アオサギ1羽、カワセミ♂1羽、モズ♂1羽♀1羽、オオヨシキリ2羽、ツバメ、ハクセキレイ成鳥1羽、若鳥1羽、セグロセキレイ1羽（鈴木紀雄）。

表紙の写真

カモ目カモ科マガン属マガン

本年10月29日、雨の降る川越市内の田んぼで、車中から撮影。右の羽を痛めているようでした。

田口勝利(さいたま市)



行事案内



カワラヒワ (編集部)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。

参加費：中学生以下無料、会員100円、一般200円。

持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋。持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

解散時刻：特に記載のない場合正午から午後1時ごろ。

悪天候の場合は中止、小雨決行です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。間際に時刻表が変更される場合もあります。ご注意ください。

所沢市・狭山湖探鳥会

期日：12月2日(土)

集合：午前9時30分、西武狭山湖線 西武球場前 駅前。

担当：石光、小林(ま)、島崎、鈴木(秀)、長谷部、水谷、持丸

見どころ：12月初めの狭山湖は、水鳥の珍客に期待出来る時季です。カイツブリ類も勿論楽しめます。

加須市・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：12月2日(土)

集合：午前8時10分、東武日光線 柳生駅前。
または午前8時30分、中央エントランス駐車場。

交通：東武日光線 新越谷7:19→春日部7:36→南栗橋7:54→柳生8:07着。またはJR宇都宮線 大宮7:13→栗橋7:38着で東武日光線に乗り換え、柳生8:07着。

解散：正午ころ、谷中村史跡ゾーン。

担当：佐野、入山、植平、佐藤、進士、田邊、玉井、野口、山田

見どころ：谷中湖にはカモやカイツブリ、木々にはベニマシコやオオジュリンなどの冬の小鳥が観られます。ミサゴやチュウヒなどの大型猛禽にも期待です。

その他：防風、防寒対策は万全に。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：12月3日(日)

集合：午前9時、北本自然観察公園駐車場(学習センター建物改修のため変更)。

交通：JR高崎線 北本駅西口から、北里メディカルセンター病院行きバス8:36発で「自然観察公園前」下車。

担当：吉原(俊)、相原(修)、相原(友)、秋葉、浅見(徹)、大坂、大畑、岡安、近藤、柴田、立岩、千葉、飛田、内藤、永野、村上、山野、吉原(早)

見どころ：コゲラ、アカゲラ、アオゲラ。シロハラ、アカハラ、ツグミ。ルリビタキ、ジョウビタキ、ベニマシコ。去年12月の観察種(全39種)の一部です。今年は？

さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

期日：12月3日(日)

集合：午前9時、浦和くらしの博物館民家園 駐車場、念仏橋バス停前。

交通：JR浦和駅東口①番バス乗り場から、東川口駅北口行き8:37発で「念仏橋」下車。

担当：須崎、伊藤、大井、高崎、手塚、野口、藤田、若林

見どころ：先日発売された『新 日本の探鳥地 首都圏編』にも紹介された芝川第一調節池。1年で一番にぎやかな時季になります。調節池を1周してカモ類・猛禽類を中心に観察します。

ご注意：①コースの途中にトイレはありません。②強風等天候によってはコースを変更します。

加須市・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：12月7日(木・平日)

集合：午前8時10分、東武日光線 柳生駅前。

または午前8時30分、中央エントランス駐車場。

交通：東武日光線 新越谷7:19→春日部7:36→南栗橋7:54→柳生8:07着。またはJR宇都宮線 大宮7:13→栗橋7:38着で東武日光線に乗り換え、柳生8:07着。

解散：正午ころ、谷中村史跡ゾーン広場。

担当：小林(み)、植平、大坂、楠見、田中、玉井、菱沼(洋)、藤澤、吉原(早)、吉原(俊)
見どころ：湖面に、ヨシ原に、遊水地の冬を代表するメンバーがそろそろ頃。豊かな自然を慕って、思いがけないお客様も来るかもしれません。静かな平日に、ゆっくり探しましょう。

さいたま市・岩槻文化公園探鳥会

期日：12月9日(土)

集合：午前8時35分、岩槻駅東口前。または、午前9時10分、文化公園国道16号側駐車場。
交通：東武アーバンパーク線 大宮8:17発、または春日部8:14発で岩槻下車。集合後路線バスで現地へ。

担当：長野、石川、内田、榎本(建)、菊川、鈴木(誠)、鈴木(紀)、鈴木(庸)、玉井、長嶋、野村、藤原

見どころ：昨年12月にはトラツグミやウソなど38種を確認できました。今年はどうでしょうか。トイレが完備された公園内や平坦な元荒川沿いの道をゆっくり歩いて、野鳥を探しましょう。

お知らせ：「ビギナー探鳥会」を同時開催。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：12月10日(日)

集合：午前9時30分、秩父鉄道 大麻生駅前。
交通：秩父鉄道 熊谷9:09発、または寄居8:50発に乗車。

担当：茂木、新井、鶴飼、倉崎、田島、千島、飛田、中川、村上

見どころ：寒さも厳しくなってきましたが、鳥たちに元気をもらい、私たちも野外活動に励みましょう。いつもの冬鳥たちと猛禽類、赤い鳥も見ることが出来るでしょう。期待してぜひ参加してください。

加須市・加須はなさき公園探鳥会

期日：12月14日(木・平日)

集合：午前8時45分、東武伊勢崎線 花崎駅南口階段下。集合後徒歩で現地へ。または午前9時、加須はなさき公園管理事務所前。
交通：東武伊勢崎線 春日部8:16→久喜8:29→花崎8:36。JR宇都宮線大宮7:53→久喜8:15で東武伊勢崎線乗り換え。

共催：加須はなさき公園管理事務所

担当：長嶋、相原(修)、相原(友)、石川、菊川、竹山、星野、茂木、渡邊

見どころ：冬鳥も居場所を定め、在来の鳥たちに仲間入りしたことでしょう。青毛掘川～公園内を歩き、ジョウビタキやカラハヒワなど身近な小鳥たちを探します。

滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：12月16日(土)

集合：午前9時20分、森林公園南入口前広場。
交通：東武東上線 森林公園駅北口から熊谷駅南口行き9:00発のバスで「滑川中学校」下車。歩道橋を渡り少し戻る。

費用：参加費と入園料大人410円(子供80円)、65歳以上210円(要年齢確認できるもの)。

担当：鈴木(秀)、大坂、大畑、岡安、内藤、中村(豊)、藤掛、藤澤、松下

見どころ：南口から山田大沼まで歩きます。カモ類は到着しています。ジョウビタキも縄張り宣言に大忙しです。ガビチョウが驚く程に増えました。急激な季節変化は冬鳥の渡りに影響しているのでしょうか。どれだけの鳥に遇えるか、楽しみです。

埼玉 Young 探鳥会 戸田市・彩湖道満グリーンパーク

共催：日本野鳥の会東京

協力：ニコイメージングジャパン(株)

期日：12月16日(土)

集合：午前9時30分、荒川彩湖公園駐車場(JR西浦和駅から徒歩20分)。

担当：廣田、石塚(敬)、石塚(真)、石塚(奏)、河邊、小林(み)、島崎、高崎

見どころ：今年も東京支部との共催でカモ類・カイツブリ類・冬の小鳥たちを楽しめます。Young な皆様のお越しをお待ちして

おります。また、初心者・ご家族連れ大歓迎です！

ご注意：集合場所が通常と異なります。お昼をはさんで午後2時ころ解散予定です。お弁当をご持参ください。ニコンの最新双眼鏡貸出があります（貸出数に限りあり）。

大宮氷川神社カラスの罫入り観察会

期日：12月16日（土）

集合：午後2時、東武野田線 大宮公園駅前広場。または午後2時30分、大宮公園ポート池の南東角（『しらこぼと』2014年4月号特集記事 調査位置図の◆P1）付近。

解散：市立大宮図書館前で、午後6時ころ。

担当：浅見(徹)、森本

見どころ：例年この時季に、ミヤマガラスも集団で罫入ります。さて、今年は。

持ち物：(1)あれば カウンター(数取器)、(2)筆記用具（ハサミ板があると便利です）、(3)防寒具（とにかく寒いです）。

その他：『しらこぼと』2014年4月号（第360号）p2-3をご参照ください。『しらこぼと』のバックナンバーは、支部のホームページから閲覧できます。

http://www.wbsj-saitama.org/srkbnt_bn.html

『しらこぼと』袋づめの会

とき：12月16日（土）午後3時～4時ころ

会場：会事務局108号室

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：12月17日（日）

集合：午前8時15分、京浜東北線 北浦和駅東口、集合後路線バスで現地へ（ご注意：案内人は8時過ぎに北浦和駅東口到着予定です）。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：須崎、青木、浅見(健)、浅見(徹)、楠見、小菅、小林(み)、新部、畠山、増田

見どころ：年の瀬が近づいていますが、見沼の冬鳥観察はこれからが本番です。芝川沿い、畑付近を歩いて冬鳥をさがします。

ご注意：コースの途中にトイレはありません。

年末講演会

日時：12月23日（土・祝）午後1時開場

会場：さいたま市民会館うらわ503・505集会室。JR浦和駅西口から徒歩7分。

プログラム：第1部13：30～14：45会員たちの『映像で振り返るこの1年』他。

第2部15：00～16：30講演 画家 神戸宇孝氏『鳥を描く楽しみ』。

第3部17：15～19：30懇親会（ワシントンホテル1階「一品菜」にて）。

参加費：100円（懇親会は5,000円の予定）。

見どころ&聞きどころ：神戸氏は5歳のときにジョウビタキに出会い、野鳥観察に興味をもち、2000年、野鳥画家を本職にするために渡英。帰国後、文一総合出版で雑誌BIRDERの編集に従事し、2011年よりフリーランスの画家として活動中。講演では鳥を描こうと思った経緯・留学時代のあれこれ・現在の活動（イラストレーターやフィールドスケッチの会など）の紹介とそれらへの想い、なぜ、写真ではなく絵なのか、などのお話の後、参加者の皆さんに絵を描くコツ等を体験してもらいます。

◆第1部の映像・画像を募集中です。あなたの傑作をビデオ、スライドショーは5分程度に編集、スライドは12枚程度にまとめ映像・画像、懇親会の申込みは12月16日までに葉書またはメールで長野誠治、

◆絵を描く体験のため、鉛筆と消しゴムをご持参ください。用紙は普及部で用意します。

幸手市・宇和田公園探鳥会

期日：12月24日（日）

集合：午前9時20分、宇和田公園駐車場。

交通：東武伊勢崎線東武動物公園駅東口から境車庫行き8:45発のバスで「上宇和田」下車。北方向に徒歩5分。

担当：佐野、植平、佐藤、竹山、田邊、村上
見どころ：年内最後の探鳥会です。公園内や中川で身近な冬鳥を探します。今回もきっと？ シラコバトが出迎えてくれるはずですよ。

2018年1月～4月の行事予定

探鳥計画を立てるのにご利用ください。変更されることもありますので、確定情報は、当月の会誌『しらこぼと』の行事案内でご確認ください。

月	日	曜日	探鳥地など
1	4	木	さいたま市 さぎ山記念公園
	6	土	戸田市 彩湖 *
	6	土	千葉県 ふなばし 三番瀬海浜公園
	7	日	松伏町 まつぶし緑の丘公園
	8	月祝	滑川町 武蔵丘陵森林公園
	8	月祝	さいたま市 民家園周辺
	8	月祝	春日部市 内牧公園
	13	土	深谷市 仙元山公園
	14	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	14	日	加須市 渡良瀬遊水地
	18	木	久喜市 久喜菖蒲公園 (平日)
	21	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	21	日	長瀨町 長瀨
	23	火	滑川町 武蔵丘陵森林公園 (平日)
25	木	羽生市 羽生水郷公園 (平日)	
28	日	狭山市 入間川 [定例]	
28	日	蓮田市 黒浜沼	
2	1	木	戸田市 彩湖 (平日)
	3	土	狭山市 智光山公園
	3	土	嵐山町 菅谷館都幾川
	4	日	さいたま市 民家園周辺 [定例] *
	4	日	北本市 石戸宿 [定例]
	4	日	滑川町 武蔵丘陵森林公園
	8	木	加須市 加須はなさき公園
	10	土	さいたま市 大宮市民の森
	11	日祝	熊谷市 大麻生 [定例]
	11	日祝	所沢市 狭山湖
	17	土	上尾市 丸山公園
	18	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	18	日	志木市 柳瀬川
	24	土	さいたま市 岩槻文化公園
25	日	本庄市 坂東大橋	
25	日	群馬県 小根山森林公園	
3	3	土	行田市 さきたま古墳公園
	3	土	戸田市 彩湖
	4	日	蓮田市 黒浜沼
	4	日	寄居町 玉淀河原
	6	火	滑川町 武蔵丘陵森林公園 (平日)
	10	土	さいたま市 見沼自然公園
	11	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	18	日	さいたま市 三室地区 [定例]
18	日	松伏町 松伏記念公園	

3	21	水祝	栃木県 日光東照宮裏山
	22	木	羽生市 羽生水郷公園 (平日)
	24	土	秩父市 秩父ミュージアムパーク
	25	日	狭山市 入間川 [定例]
	25	日	加須市 渡良瀬遊水地
	31	土	所沢市 狭山湖
4	1	日	北本市 石戸宿 [定例]
	1	日	さいたま市 民家園周辺 [定例]
	8	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	8	日	長瀨町 宝登山
	15	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	15	日	春日部市 内牧公園
	21	土	さいたま市 秋ヶ瀬公園 Young *
	22	日	東京都 葛西臨海公園
	25	水	さいたま市 秋ヶ瀬公園 (平日)
	29	日祝	シギ・チドリ類調査 (さいたま市)
29	日祝	栃木県 小倉山森林公園	
5	26-27	土-日	長野県 戸隠高原 (要予約)

*印：並行して「ビギナー探鳥会」を開催

1月～4月「たくさん見える！」予報

2013～2017年の1月から4月の探鳥会で見られた野鳥は、県内で143種でした。5年間の月ごとの出現鳥種数が多い探鳥会を表に示しました。

	1月	2月	3月	4月
1	渡良瀬	民家園	玉淀河原	秋ヶ瀬
2	彩湖	市民の森	さきたま古墳	大麻生
3	森林公園	森林公園	渡良瀬	石戸宿
4	羽生水郷	菅谷館	入間川	(狭山湖)
5	入間川	坂東大橋	(高麗川)	民家園
6	緑の丘	彩湖	松伏記念	宝登山
7	長瀨	石戸宿	大麻生	(物見山)
8	黒浜沼	大麻生	彩湖	三室
9	久喜菖蒲	智光山	三室	内牧
10	大麻生	岩槻文化	見沼自然	(緑の丘)
11	さぎ山	三室	羽生水郷	—
	71～48種	68～49種	58～47種	61～22種

括弧付き：今回は設定されていない探鳥会

計画されている探鳥会の4ヶ月通算の出現鳥種数は、渡良瀬81、民家園75、大麻生69、彩湖68、森林公園67、三室66、入間川・羽生水郷63、秋ヶ瀬61、市民の森・菅谷館・石戸宿・玉淀・さきたま古墳58、狭山湖・黒浜沼・緑の丘57、長瀨・坂東大橋56、智光山54、高麗川・松伏記念52、岩槻文化51、見沼自然・久喜菖蒲50、内牧49、さぎ山・柳瀬川48、丸山公園47、仙元山45、はなさき43、宝登山40、ミュージアム38でした。



行事報告

4月2日(日) さいたま市 民家園周辺

参加: 56名 天気: 晴

キジ カルガモ コガモ キジバト カワウ コサギ バン オオバン オオタカ ノスリ カワセミ コゲラ チョウゲンボウ ハヤブサ モズ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ アトリ カワラヒワ シメ ホオジロ アオジ (36種) (番外: ドバト) 桜が満開の予定だったのに……。前の週が低温続きで、他の花を含め、あまり咲いておらず残念。なかなかドンピシャといかないものだ。鳥達にもなかなか出会えなかったが、後半の芝川あたりからいろいろ出てくれた。終盤のアトリの群れは、良かった。ヒバリが囀り、キジが鳴き、ツバメが飛翔……春だ〜。(伊藤芳晴)

4月8日(土) 所沢市 狭山湖

雨のため中止。(石光 章)

4月9日(日) 長瀬町 宝登山

雨のため中止。(井上幹男)

4月9日(日) 熊谷市 大麻生

雨のため中止。(榎本秀和)

4月9日(日) 東京都 多摩動物公園

参加: 18名 天気: 小雨後曇

コジュケイ カルガモ キジバト アオサギ ダイサギ コサギ コゲラ アオゲラ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ツバメ ヒヨドリ ウグイス エナガ ムクドリ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ (19種) (番外: ドバト、ガビチョウ) 多摩動物公園の協力を得て行った。午前中はトキ類の飼育展示の見学と室内での座学を行った。今回、特別に日本最後のトキ「キン」の骨格標本を見せて頂いた。午後は、園内にあるサギの巣を見ながらイヌワシ達が飼育展示されて

いるフライングケージまで行った。天気が悪かったのでイヌワシは、良く飛んでくれなかったのが残念だった。「鳥」について別の視点を教えていただき、とても勉強になった。(入山 博)

4月15日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 10名

宇野澤晃、榎本秀和、海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、小林みどり、佐久間博文、志村佐治、松村禎夫、三ッ矢正安

4月16日(日) 春日部市 内牧公園

参加: 43名 天気: 晴

キジ カルガモ キジバト カワウ バン コチドリ タシギ オオタカ カワセミ コゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ エナガ メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ キビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ アトリ カワラヒワ シメ ホオジロ (32種) 開始早々キビタキの雄が出た。頭上で枝移りするキビタキに皆釘付け。首が痛くなったのでは。メジロ、ヒバリ、カワラヒワが盛んに囀り、キジ雄があちこちで叫び、屋敷林ではアトリ、シロハラも出た。芽吹き新緑、若葉が萌え出で、少々鳥が見づらくなっていたが、里山内牧の春を満喫されたと思う。(石川敏男)

4月16日(日) さいたま市 三室地区

参加: 55名 天気: 晴

キジ カルガモ コガモ キジバト アオサギ オオバン コチドリ オオタカ カワセミ コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ アトリ カワラヒワ シメ ホオジロ アオジ (29種) この時季の主役は何と言ってもキジとヒバリ。コースのいたるところから声が聞こえ、みんなで観察した。冬鳥であるコガモ・ツグミ・アオジ、一部の人にはアトリも観察できた。初夏のような陽気に桜吹雪が舞い、季節の変わり目を感じた。(須崎 聡)

4月21~23日(金~日) 東京都 三宅島

参加: 23名 天気: 21-22=曇、23=晴

コジュケイ カラスバト キジバト クロアシア
 ホウドリ アホウドリ オオミズナギドリ ヒメ
 ウ カワウ ウミウ ミゾゴイ ゴイサギ ササ
 ゴイ アカガシラサギ アオサギ ダイサギ チ
 ユウサギ コサギ アマツバメ ヒメアマツバメ
 ムナグロ コチドリ ウミネコ セグロカモメ
 ツミ オオタカ ノスリ アオバズク コゲラ
 ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ツバ
 メ イワツバメ ヒヨドリ ウグイス イイジマ
 ムシクイ メジロ ウチヤマセンニュウ ミソサ
 ザイ コムクドリ シロハラ アカコッコ コマ
 ドリ イソヒヨドリ キビタキ スズメ カワラ
 ヒワ シメ ホオジロ ミヤマホオジロ (50種)
 例年5月に開催していたのを、今回は4月に設定
 した。狙いはアホウドリ！ 3月から4月につ
 けて、三宅島と大島の間の海域でアホウドリが見
 られるとの情報によりトライしてみた。狙いは的
 中！アホウドリは成鳥、若鳥合わせて4回以上観
 察され、クロアシアホウドリも2回観察された。
 もちろん、三宅島での固有種も渡りの鳥もひと通
 り楽しめ、最高の3日間だった。おまけ：伊豆岬
 とめがね岩の海上にウミガメ複数頭。(浅見 徹)

4月22日(土) さいたま市 秋ヶ瀬公園 Young
参加：64名 天気：曇

コジュケイ キジ カルガモ コガモ キジバト
 カワウ アオサギ ダイサギ コチドリ イソシ
 ギ カワセミ コゲラ チョウゲンボウ モズ
 カケス ハシボソガラス ハシブトガラス シジ
 ユウカラ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ ウグイス
 エナガ メジロ セッカ ムクドリ コムクドリ
 シロハラ アカハラ ツグミ キビタキ スズメ
 ハクセキレイ タヒバリ アトリ カワラヒワ
 シメ ホオジロ アオジ (39種) (番外：ドバト、
 ガビチョウ) 曇り空だったが、過ごしやすい天
 気での探鳥会。キジのほろうち、ヒバリの轉り、
 ツバメなど春らしい鳥たちが出迎えてくれた。田
 園ではまだ田んぼに水が入っていなかったため、
 鳥は少なめだったが、チョウゲンボウが何度もホ
 バリングしてくれ、ホオジロも美しい轉りを聞か
 せてくれた。秋ヶ瀬公園内では、キビタキを確認。
 カケスが木の上で動き回り、コゲラが営巣してい
 た。親子連れ、初めてのバードウォッチングの方
 にもご参加いただき、楽しい探鳥会となった。

(廣田純平)

4月26日(水) さいたま市 秋ヶ瀬公園
参加：34名 天気：曇

コジュケイ キジ カルガモ コガモ キジバト
 カワウ アオサギ コチドリ クサシギ コアジ
 サシ トビ カワセミ コゲラ チョウゲンボウ
 サンショウクイ カケス ハシボソガラス ハシ
 ブトガラス シジュウカラ ヒバリ ツバメ ヒ
 ヨドリ ウグイス メジロ オオヨシキリ セッ
 カ ムクドリ ツグミ キビタキ オオルリ ス
 ズメ ハクセキレイ カワラヒワ シメ ホオジ
 ロ アオジ (36種) (番外：ドバト、ガビチョウ)
 排水機場でコチドリ、コアジサシ。田んぼではオ
 オヨシキリ。ピクニックの森に入ればサンショウ
 クイのさえずりに、木の上のほうで姿を出し惜し
 みするキビタキ、オオルリ。そして、あたりを飛
 び交うツバメ。7種の夏鳥が確認された一方で、
 冬鳥のコガモ、シメの姿も見られた。鳥たちの
 「秋ヶ瀬国際空港」のにぎわいが感じられた。

(小林みどり)

4月26日(水) さいたま市 秋ヶ瀬公園 Beginner
参加：24名 天気：曇

コジュケイ キジ コガモ キジバト コゲラ
 チョウゲンボウ カケス ハシボソガラス ハシ
 ブトガラス シジュウカラ ヒバリ ツバメ ウ
 グイス メジロ オオヨシキリ セッカ ムクド
 リ ツグミ オオルリ スズメ カワラヒワ (21
 種) (番外：ドバト、ガビチョウ) “より多くの”
 “より珍しい”より“身近な鳥でも、1種にじっ
 くりと時間をかけて”がテーマ。でも、やはりこ
 の日のメインは「オオルリ」！ ほぼ全員が確認出
 来て大盛り上がり。この時季は青葉が生い茂り、
 その隙間からチラチラと見える小鳥達を探すとい
 う「ビギナー」には厳しい条件。確認種数は少な
 かったものの、ご参加の皆様が懸命に鳥たちを探
 す姿を拝見し、私達リーダーも「始めた頃の、あ
 のワクワク感」を思い起こした。(石塚敬二郎)

4月29日(土、祝) シギ・チドリ類調査
ボランティア：19名

相原修一、相原友江、石井 智、今村富士子、海
 老原教子、海老原美夫、大坂幸男、大塚純子、柏
 瀬政己、小島實、小迫照明、佐久間博文、白石琢
 也、鈴木博美、新部泰治、藤澤洋子、藤田敏恵、
 松野勉、湯本貴光



● NHK「ダーウィンが来た! ヒバリ」に協力

ヒバリを撮影できる場所について番組担当者から相談を受け、羽生水郷公園探鳥会担当の相原修一幹事が同公園を案内しました。

番組は10月8日(日)午後7時30分から30分間放送され、前半は同公園でヒバリは110mの高さまで昇っていることなど、後半は富士山のヒバリについての内容で、「協力：野鳥の会埼玉」のクレジットタイトルが流れました。

● 和白干潟請願は継続審査

当会も署名活動に協力し(本誌2016年3月号、12月号など)、和白干潟を守る会が、本年3月福岡市議会に提出した請願「博多湾・和白干潟のラムサール条約登録について」が、8月21日(月)福岡市議会第5委員会で審査され、「継続審査」になったとのこと。

● 会員の普及活動

9月30日(土)北本自然観察公園で開催された新ハイキング主催「鳥を観る・知る」第23回で、浅見徹、吉原俊雄、工藤洋三、藤田敏恵、星進が指導しました。

10月4日(水)葛西臨海公園で開催された彩の国シニア自然大学校・野鳥観察講座2017年度第2回で、小林みどり、石光章、山部直喜が指導しました。

● 会員数は

11月1日現在 1,670 人です。

活動と予定

● 10月の活動

10月14日(土)11月号校正(海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、佐久間博文、志村佐治、長嶋宏之、藤掛保司)。

10月14日(土)-15日(日)都内で開催された日本野鳥の会東京主催の関東ブロック協議会に出席(青木正俊、石塚敬二郎、小林みどり、森本國夫)。

10月23日(月)『野鳥』誌を購読しない会員向け、『しらこぼと』11月号を郵便局から発送(海老原美夫)。

10月25日(水)国営森林公園管理センター都市緑化植物園研修室で開催された地域懇談会第3回バリアフリー分科会に出席(藤掛保司)。

● 12月の予定

- 12月2日(土) 編集部会。普及部会。
- 12月9日(土) 1月号校正(午後4時から)。
- 12月16日(土) 袋づめの会(午後3時から)。
- 12月17日(日) 役員会(午後4時から)。

編集後記

4年ぶりに出かけた石垣島などの旅から一昨夜遅く帰宅した。昨日は旅の写真を簡単に整理してから、本誌の、私が担当する部分にとりかかった。本日編集部会議当日、時間前までになんとか間に合わせる事ができた。みんなが、それぞれの立場で力を合わせ、会の活動と本誌の発行を続けています。(海)

しらこぼと 2017 年 12 月号(第 405 号) 定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)
 発行人 海老原美夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町
 4丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
 郵便振替 00190-3-121130 http://www.wbsj-saitama.org 事務局 office@wbsj-saitama.org
 編集部への原稿 yamazekuzoku@hotmail.com 編集部への野鳥情報 toridayori@hotmail.com
 住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番 23 号 丸和ビル
 (公財)日本野鳥の会会員室 TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635 gyomu@wbsj.org
 本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断
 転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社